

秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 23 年 11 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

女岳では、2009年から2011年9月にかけて地熱域の拡大が認められています。火山性地震は少ない状況で、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

平成21年10月27日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図2～3）

仙岩峠（女岳山頂の南約5km）に設置してある監視カメラ（東北地方整備局）では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図4～5）

火山性地震は少ない状況が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

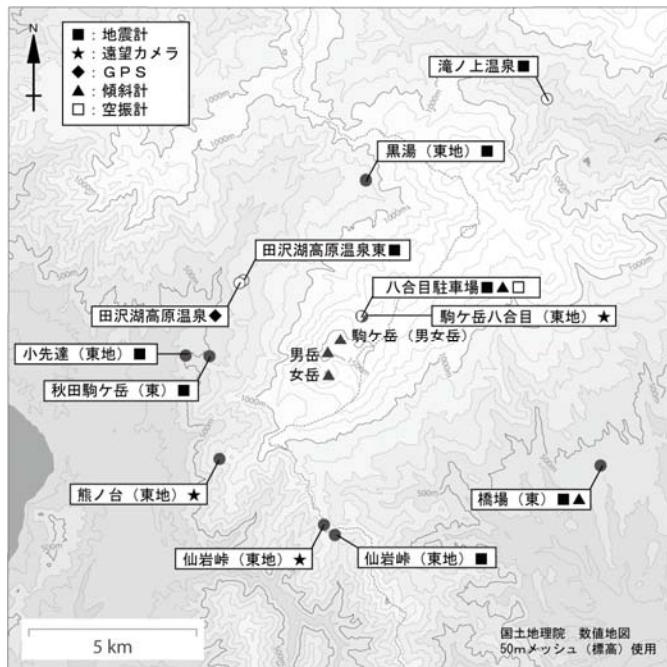


図1 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

(小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。
小さな黒丸は他機関の観測点位置を示しています。)
(東) : 東北大学 (東地) : 東北地方整備局

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 12 月分）は平成 24 年 1 月 10 日に発表する予定です。

※この記号の資料は、気象庁のデータの他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ(標高)」を使用しています（承認番号 平20業使、第385号）。



図 2* 秋田駒ヶ岳 遠望カメラの映像（11月11日09時00分頃）
仙岩峠（女岳山頂の南約5km）に設置してある監視カメラ（東北地方整備局）による。

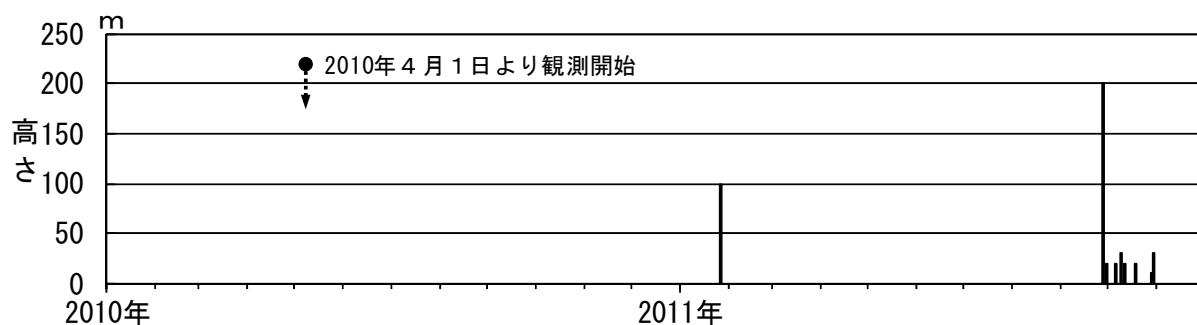


図 3* 秋田駒ヶ岳 日最大噴気の高さ（2010年4月～2011年11月）
熊ノ台（女岳山頂の南西約5km）及び仙岩峠（女岳山頂の南約5km）に設置してある監視カメラ
(東北地方整備局)による。

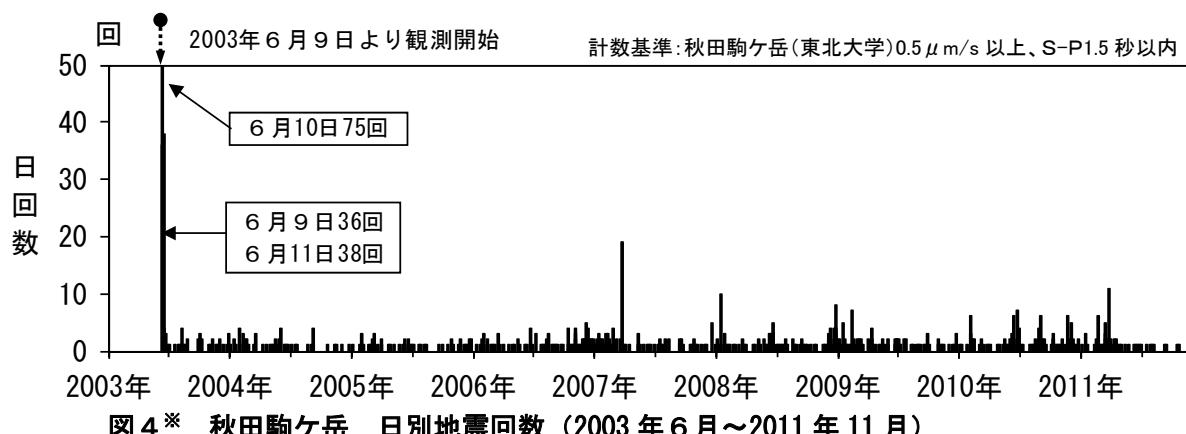


図 4* 秋田駒ヶ岳 日別地震回数（2003年6月～2011年11月）

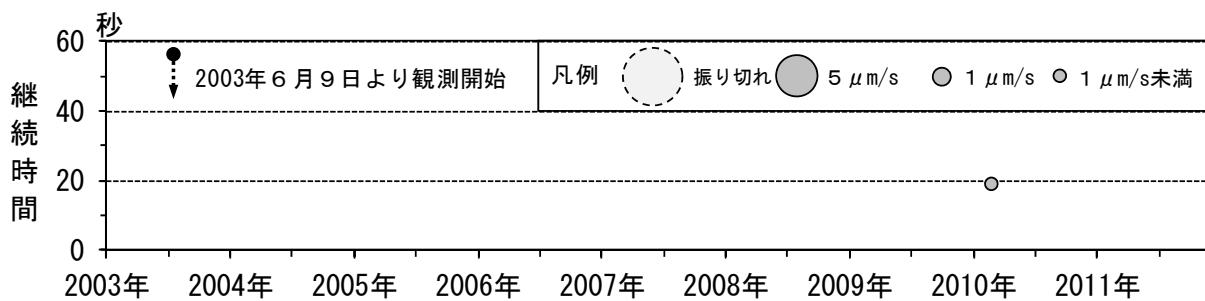


図 5* 秋田駒ヶ岳 微動の継続時間と上下動最大振幅（2003年6月～2011年11月）
東北大學秋田駒ヶ岳観測点による。